

新 技術紹介シリーズ

“私のキッチン”から“家族みんなのキッチン”へ 「デュアルワークスペース」プラン発売

トクラス株式会社

共働き世帯や、夫が定年退職を迎えた世帯の増加に伴い、かつて「主婦の城」であったキッチンは、家族の誰もが使用する場所に変化しています。

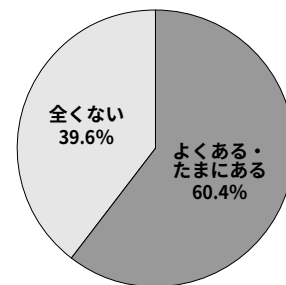
トクラス株式会社(本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：八幡泰司)は、キッチンでのワークスタイルの多様化に応えるべく、レイアウトや使い勝手の自由度を高めた「トクラスキッチンベリー」を10月1日(木)にリニューアル発売いたしました。

また、マンション居住者向けに、2016年2月には、キッチンメーカーとして初めて、人造大理石シンクへのディスポーザー対応を可能にしたシステムキッチンを発表予定。

トクラスは、お客様の多様なご要望にお応えできる提案力や対応力のある“家族みんなのキッチン”を目指しています。

また、キッチンを2人以上で同時に使用する機会のある人は6割を超え、忙しい毎日のなかで、より効率よく調理や片づけを行いたいと考えていることが推察できます。一方で、現状のキッチンでは「並行作業」や「作業分担」をしづらいといった不満のあることがわかりました。

Q. 配偶者の方や子供など、2人以上でキッチンに立って料理をする機会はありますか？(男女 単一回答)



1. 「デュアルワークスペース」開発背景

■共働き世帯に対するキッチンの使用実態調査

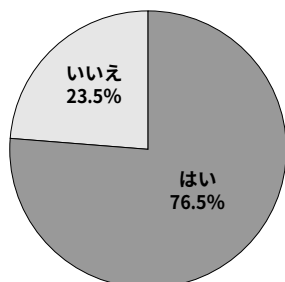
(トクラス株式会社調べ)

- ・調査方法：インターネットリサーチ
- ・実施時期：2015年7月
- ・対象条件：20代～60代既婚、夫婦ともに有職者、配偶者と子供以外の同居者無し
- ・有効サンプル数：N=520

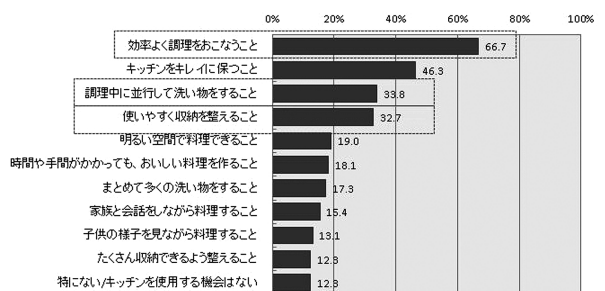
調査では、共働き世帯の男性(N=260)のうち、8割弱がキッチンでの家事(調理や片付け、掃除を含む)に参加しており、男性のキッチン使用が一般化していることがわかります。

Q. あなたはご自宅においてキッチンでの家事(調理や片付け、掃除を含む)に参加していますか？

(男性 単一回答)

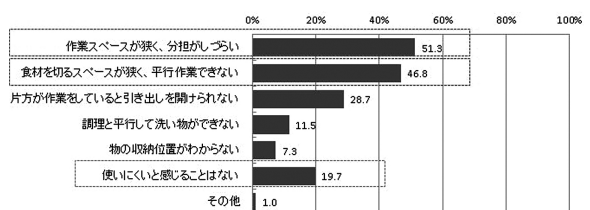


Q. あなたがキッチンを使用(調理や片付け、掃除を含む)する時に重視していることについて、あてはまるものをすべてお選びください。(男女 複数回答)



Q. 2人以上でキッチンに立って料理をするうえで、使にくいと感じることをすべてお選びください。

(男女 複数回答)



2. 新発想「デュアルワークスペース」

① 2人でも動線がぶつからない

「デュアルワークスペース」は、調理スペースが2つあるので2人での作業もスムーズ。並んでキッチンを使用する際の、“動線がぶつかって作業しづらい”、“カウンターが狭く並行作業ができない”といった問題点を解決。調理作業と洗い物の同時進行もスムーズです。

【従来のキッチン】



【デュアルワークスペース】



② いろいろなシーンで活躍

「デュアルワークスペース」は、様々なシーンで活躍します。例えばシンクも左右どちらからでも使いやすいシンメトリーデザインなので、二人で共有。お子様のお手伝いも、火から離れた位置で安心感が生まれます。



そのほかにも、加熱調理をする肉や魚介類と、そのまま食べる生野菜を左右で分けて調理したり、水で洗う野菜類と、ぬらしたくないパンを分けてカットした

りなど、これまで“少し気になっていたこと”を解消します。

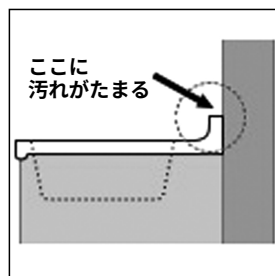


3. 「ハイバックカウンター」が進化

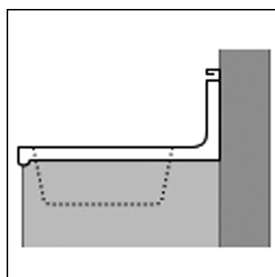
① 高さを活かしたスマート発想

カウンター奥のバックガードを高く立ち上げた「ハイバックカウンター」は、段差やコーキングのつなぎ目がないので、汚れがたまりにくく、また高さを活かしてカウンターの奥まで広々賢く使えることから、グッドデザイン賞(公益財団法人日本デザイン振興会主催)を受賞しています。

今回、カウンター奥のハンガーアイテムに、布巾掛け、小物の水切りラック&フックと3役をこなす「マルチ水切りラック」が追加。使い勝手が進化しました。



従来のキッチンカウンター



ハイバックカウンター



マルチ水切りラック

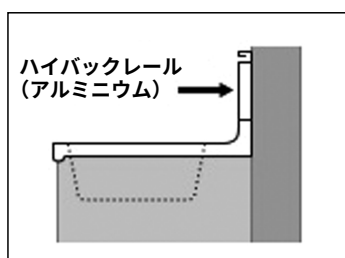


ハイバックカウンター

② よりお求めやすいタイプも登場！

「ハイバックカウンター」の清掃性や使い勝手のよさをそのままに、よりお求めやすい価格帯で提供可能な「ハイバックレール」が登場。普及価格帯シリーズの「トクラスキッチン Bb」に搭載可能です。

「ハイバックカウンター」は、カウンター奥のレール下まで人造大理石カウンターで一体形状であることに對し、新商品「ハイバックレール」は、人造大理石カウンター奥のレール下をアルミニウムで仕上げています。



ハイバックレール模式図



ハイバックレール

4. 人造大理石シンクへの ディスポーザー設置が可能に

2016年2月には、キッチンメーカーとして初めて、人造大理石シンクへのディスポーザー対応を可能にしたシステムキッチンを発売予定です。

ディスポーザーはキッチンの排水口に取り付けて、調理時の生ゴミを粉碎・自動排出する設備で、マンション入居者のゴミ処理負担を軽減することから、現在首都圏における新築分譲マンションの約6～7割(トクラス調

べ)に付帯するほど、人気の高いアイテムです。

これまでも、人造大理石「マーブルシンク」へのディスポーザー対応のご要望を多くいただいておりますが、寸法上の制約(マーブルシンクの厚みに対応可能なディスポーザーが無かった)でお応えすることができませんでした。

今回、ディスポーザーメーカーとの共同開発により、マーブルシンクへ取り付け可能な、新仕様のディスポーザーを開発。人造大理石製シンクへのディスポーザー設置が可能になりました。



ディスポーザー対応人造大理石製シンクを搭載したトクラスキッチン「Berry」

ディスポーザー対応人造大理石製マーブルシンク。
カフェベージュ、グレー、イエローの3色展開。

お問い合わせ先

トクラス株式会社 経営企画室 広報広告グループ
TEL：053-485-1561
月～金(祝日を除く) 9：00～17：00